



第26号

一令和4年1月10日発行

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
秋田県点字図書館

〒011-0943 秋田市土崎港南三丁目2番58号
電話 018(845)0031・貸出018(853)4035
FAX 018(845)7772
E-mail tenji@fukinoto.or.jp
H P <http://www.fukinoto.or.jp/tenji>

新年のごあいさつ



館長 小澤久範

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。
昨年は皆様のお力添えで、無事に業務を進
めることができました。

コロナウイルスという未知のウイルスがあつという間に、世界を席巻してから2年近くが経過してしまいました。その間に、社会の体制が大きく様変わりしており、外に出るには必ずマスクの着用、リモートワークの普及、会議や研修会も、オンラインというようになってしましました。きっと、皆さんの生活にも様々な変化が生まれていることが思
います。

そうした中で、人間はそのワクチンに打ち勝つべく、短時間でのワクチン開発、更には経口内服薬の開発も進んでいるようです。長い歴史の中の人間は、様々な工夫を凝らして、何度も大きな壁を乗り越えて、現在がある訳で、日本の民間人が国際宇宙ステーションに行くまでになっています。こうなると人間の無限の可能性を信じずにはいられません。



点字図書館でも、読書バリアフリー法の絡みで、一般の図書館の職員の皆さんのが点字図書館で取り組んでいる業務を、見学に来ていただいたりしております。
こうしたことを皮切りに、近い将来にはきっと、視覚に障害を持たれた皆様の読書環境が整備され、今以上に利用し易くなつていただけると思います。
そうなるために点字図書館職員一同も、読者の皆様の側に立った考え方を持ちながら、今以上の点字図書館を目指して努力して行きたいと思つております。
今年も点字図書館をよろしくお願い申し上げます。

今年度も小学校からの点字体験学習に出向きました。

講師からは点訳ボランティアを始めたきっかけや活動の様子のほか、点訳図書を見てもらうながら視覚障害者が使用する教科書や点字器と点筆の紹介、点字の打ち方やルールを分かりやすく伝えました。

児童たちは「点字体験は楽しかった。」「自分の生活とハンディを持つ方の生活についても考えることができます」「これからも点字ボランティアのお仕事頑張ってください」などたくさん感想が寄せられました。

県内点字理解教室（2校）を含め12校で約500名の児童が点字体験をしました。

この学習での学びが花開き、将来、みんなが幸せな社会への実現へとつながってほしいと願っています。



令和3年度夏休み点字図書館探検を開催しました

8月5日から7日までの3日間、二ツ井、河辺、築山、秋田大学付属など県内11の小学校の児童28名に加えて、付き添つてきたおとなのかた24名の方々に探検をしてもらいました。ミッショーンは「点字で名前シールを作ろう」「点字の暗号を解いてみよう」「音訳の文章を読んで録音しよう」「点字でアート6つの点でオリジナル作品を作つてみよう」の4つ。どのミッショーンにも目を輝かせて、熱心にそして楽しんで取り組んでもらえました。このイベントを通じ、点字や視覚に障がいのある方との関わり、当館を身近に感じてもらいました。



プチッと点字体験

9月25日、まなびピア2021 in おおだてが開催され大館市中央公民館で「プチッと点字体験」のイベントを行いました。当日は天候にも恵まれ、111名の方々が来場して、賑わいを見せました。コロナ感染防止対策のため、今年は職員が来場者の方の名前を点字で打つてプレゼントする企画に変更しました。

「これ、点字なの?」「初めて点字触った!」と喜びの声や「点字、打つてみたかった」と残念の声が入り混じった点字体験でした。



点訳製作の校正プリントをするボランティアさん

点訳から

テキストデイジーブック製作の、編集を担当してくださいるボランティアの養成講座を行いました。テキストデイジーブックとは、本文のテキストデータと目次やページなどの情報ファイルで構成された図書です。受講生5名、講師3名で10月5日から10月8日までのカリキュラムを行いました。

講座では、編集作業の原本に沿つて、章や節で分割したり、基準通りの区切りで分けたり、画像や表を挿入したり、ページ付けをしたり等、座学と実際のソフトを使用した演習も行いました。講師の事前準備の賜物と受講5名全員が講座を修了することができました。新たな力を借りながら、より多くの図書を紹介できればと思っております。

貸出・製本から

一回の貸出し数が5タイトルに点字図書館だよりの図書案内を工夫して、お陰様で順調です。

皆様が気持ちよくご利用して下さることを常に念頭に置き、利用者の方々の生の声を大切にしています。毎日利用者の方々と笑ったり悩んだり、はたまた励ましていただけます。また、毎月の点字本の製本、新刊デイジーブックの製本などに携わってくださるボランティアの方々には大変感謝しております。

点訳から

今年度も小学校からの点字体験学習に出向きました。

講師からは点訳ボランティアを始めたきっかけや活動の様子のほか、点訳図書を見てもらうながら視覚障害者が使用する教科書や点字器と点筆の紹介、点字の打ち方やルールを分かりやすく伝えました。

児童たちは「点字体験は楽しかった。」「自分の生活とハンディを持つ方の生活についても考えることができます」「これからも点字ボランティアのお仕事頑張ってください」などたくさん感想が寄せられました。

県内点字理解教室（2校）を含め12校で約500名の児童が点字体験をしました。

この学習での学びが花開き、将来、みんなが幸せな社会への実現へとつながってほしいと願っています。

音訳から

テキストデイジーブック製作の、編集を担当してくださいるボランティアの養成講座を行いました。テキストデイジーブックとは、本文のテキストデータと目次やページなどの情報ファイルで構成された図書です。受講生5名、講師3名で10月5日から10月8日までのカリ

キュラムを行いました。

講座では、編集作業の原本に沿つて、章や節で分割したり、基準通りの区切りで分けたり、画像や表を挿入したり、ページ付けをしたり等、座学と実際のソフトを使用した演習も行いました。講師の事前準備の賜物と受講5名全員が講座を修了することができました。新たな力を借りながら、より多くの図書を紹介できればと思っております。

